東北地方 1か月予報

(8月3日から9月2日までの天候見通し)

平成25年8月2日 仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

2週目は、気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。2週目は、高い確率60%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

 [気温] 東北地方
 20
 40
 40

 [降水量] 東北地方
 40
 40
 20

 [日照時間] 東北地方
 20
 40
 40

低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目] 東北地方 40 20 40 [2週目] 東北地方 10 30 60 [3~4週目] 東北地方 20 40 40 低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月 3日(土)~ 9月 2日(月) 1週目 : 8月 3日(土)~ 8月 9日(金) 2週目 : 8月10日(土)~ 8月16日(金) 3~4週目 : 8月17日(土)~ 8月30日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は8月9日

3か月予報:8月22日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1)30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気 温	降水量	日照時間	気 温()		
	()	(mm)	(時間)	1 週目	2 週目	3~4週目
青森	23.1	123.4	178.7	23.7	23.6	22.8
深浦	23.1	166.0	178.6	23.6	23.5	22.8
むつ	21.6	145.3	143.9	22.1	22.0	21.4
八戸	22.3	131.4	165.2	22.9	22.7	22.1
秋田	24.7	175.4	192.2	25.2	25.3	24.4
盛岡	23.2	179.9	148.1	24.0	23.8	22.8
大船渡	22.9	190.5	146.8	23.3	23.2	22.7
宮古	22.1	165.8	158.5	22.5	22.4	21.9
仙台	24.0	161.3	143.6	24.5	24.4	23.8
石巻	23.4	111.9	167.0	23.6	23.7	23.3
山形	24.7	145.2	176.2	25.5	25.2	24.3
新庄	23.9	163.9	169.9	24.6	24.5	23.5
酒田	25.2	179.5	205.9	25.8	25.7	24.9
福島	25.2	145.9	149.9	25.9	25.6	24.9
若松	24.8	131.2	195.6	25.6	25.3	24.5
白河	23.4	212.9	144.5	24.0	23.7	23.1
小名浜	24.1	131.1	185.0	24.1	24.2	24.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の 範囲を参考にして下さい。

(2)1981 ~ 2010年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.7	75 ~ 119	89 ~ 111
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	75 ~ 106	92 ~ 111
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.8	74 ~ 119	89 ~ 110

(3)この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
東北地方	-0.8 ~+1.1	-0.6 ~+0.9	-0.6 ~ +0.8
東北日本海側	-0.7 ~ +1.1	-0.5 ~ +0.9	-0.5 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.7 ~ +1.3	-0.6 ~ +0.9	-0.5 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

- (1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ~ 2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。
- (2)予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10%以下や 60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。
- 出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。
 (3)晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成25年8月2日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月3日~9月2日):

太平洋高気圧に覆われ、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 2週目は、気温がかなり高くなる可能性があります。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

1週目(8月3日~8月9日):

太平洋高気圧に覆われ、晴れる日が多いですが、期間の中頃は寒気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る所もあるでしょう。

気温は、平年並または低い確率ともに40%です。

2週目(8月10日~8月16日):

太平洋高気圧に覆われ、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。厳しい暑さが予想されます。 気温は、高い確率 60% です。

3~4週目(8月17日~8月30日):

太平洋高気圧に覆われ、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

主な気象官署の、向こう4週間の	半年の大気出現日剱	(\mathbf{H})
-----------------	-----------	----------------

青	森	秋	田	盛	岡	仙	台	山	形	福	島
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
14.8	8. 6	15.8	9. 0	12.5	9.4	11.9	9.6	15.6	8. 5	12.8	8.8

晴れ日数は「日照率 40%以上の日数」、降水日数は「日降水量 1mm 以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3~4週目とも平年を上回る予想となっている。1週目は、週間予報資料から、平年を下回ると考える。

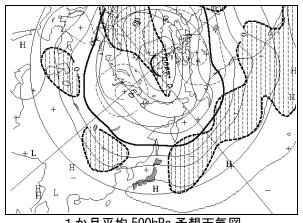
地域平均気温平年差 東北 地方 実測値 5 4 3 2 1 平 0 年 差 -1 (°C) -2 -3 -4 -5 7/20 7/27 8/3 8/10 8/17 8/24

- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。
- ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1. 2週目の上空の大気の流れの予想(500hPa 予想天気図)

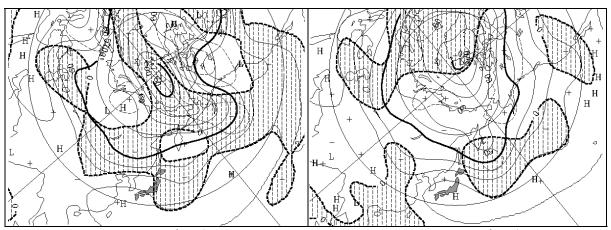
1か月平均:中国東北区は負偏差、日本付近は正偏差、日本の東は負偏差となり、偏西風は日本付近で北に蛇行する。太平洋高気圧が張り出し、日本付近を覆うため、平年に比べ晴れの日が多く、高温傾向、少雨傾向で日照時間は多い傾向。2週目を中心に気温がかなり高くなる見込み。

1週目:東シナ海から西日本にかけて正偏差。カムチャツカ付近の正偏差は次第に弱まる。太平洋高気圧が西から次第に勢力を強め、東北地方へ張り出す。晴れる日が多いが、期間の中頃は上空の寒気の影響を受けて雲が広がりやすい。期間のはじめは、東よりの風の影響で東北太平洋側を中心に気温が低い見込み。



1 か月平均 500hPa 予想天気図 図の見方は 1,2 週目と同じ。ただし偏差の間隔は 30m。

2週目:日本付近は正偏差に覆われ、日本海で気圧の尾根が発達する。北日本から西日本にかけて、 太平洋高気圧に広く覆われる。東北地方は晴れの日が多くなり、厳しい暑さが予想される。



1 週目平均 500hPa 予想天気図

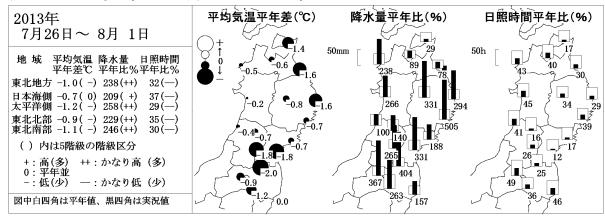
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 60m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間(7月26日~8月1日)の天候の経過

この期間、前線や気圧の谷の影響で、大雨の日が続いた。オホーツク海高気圧からの冷たく湿った東よりの風の影響で、気温は東北太平洋側で低かった。26 日から 28 日にかけて、上空に寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過したため、東北太平洋側を中心に大雨となり、岩手県、宮城県、福島県では日降水量が 100mm を超えた所があった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。降水量は東北日本海側で多く、東北 太平洋側でかなり多い。日照時間はかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)